

路線バス乗降等調査の結果について

【路線バス乗降等調査】

調査日:8月22日(木)~8月25日(日)

対象路線:路線バス33系統「父鬼線」 父鬼 ⇄ 槇尾山口
路線維持運行バス「父鬼ルート」 父鬼 ⇄ 槇尾中学校前

調査方法:バス車両に調査員が乗込み、対象路線区間の各バス停留所[父鬼線(8)、父鬼ルート(10)]の乗降者数を確認し、目的地を聞き取る。

調査結果:別添参照

○路線バス「父鬼線 33系統」(4日間集計)

- [第1便] ⇒ [下り] 和泉中央駅から乗車された方は、大野、父鬼で降車、調査区間の乗車は、槇尾山口の1名だけで、若樫口の降車であった。
⇒ [上り] 父鬼新町、大野、栄橋からの利用者の行き先で和泉中央駅、槇尾山口からは和泉府中駅、若樫口からは槇尾山口であった。
- [第2便] ⇒ [下り] 和泉中央駅から乗車された方は、若樫口の降車で、調査区間の乗車利用では、槇尾山口の1名だけで、若樫口の降車であった。和泉府中駅から乗車された方は、大野の降車であった。
⇒ [上り] 栄橋、若樫口からの利用者の行き先で和泉中央駅と槇尾山口、槇尾山口からの利用は泉大津駅であった。
- [第3便] ⇒ [下り] 調査期間中の区間乗車利用はなく、和泉中央駅から乗車された方は、父鬼の降車であった。
[上り] 父鬼から乗車された団体は、槇尾山登山の高校生グループで、若樫口、槇尾山口からの利用者と同様で和泉中央駅への利用であった
- [第4便] ⇒ [下り] 調査期間中の区間乗車利用はなく、和泉中央駅から乗車された方は、小川口、栄橋、大野の降車であった。
⇒ [上り] 若樫口、槇尾山口からの利用者の行き先で和泉中央駅であった。
※23日上り・下り4便では、地藏盆のため、父鬼-父鬼口間の通行止めを行っていた。

○路線維持運行バス「父鬼ルート」(4日間集計)

[上り]

[第1便] 調査期間中の利用はなかった。

[第2便] 平日に父鬼で通学利用があり、榎尾中学校前で乗り継ぎ、行き先は和泉中央駅であった。

[第3便] 平日に父鬼新町で通院、栄橋で通学の利用があり、いずれも榎尾山口で乗り継ぎ、行き先は和泉中央駅であった。

[第4便] 平日に栄橋で通勤の利用があり、榎尾山口で乗り継ぎ、行き先は和泉中央駅であった。

[下り]

[第1便] 日曜に和泉中央駅から来られた方が、榎尾中学校前、榎尾山口から乗り継ぎ、行き先は父鬼であった。平日では榎尾山口と若樫口間の利用であった。

[第2便]・[第3便] 調査期間中の利用はなかった。

[第4便] 平日と土曜に榎尾山口から乗り継ぎ、行き先は父鬼であった。

[第5便] 日曜の利用はなく、榎尾中学校前から乗り継いで栄橋で降車、榎尾山口からは乗り継ぎ、栄橋、大野の降車であった。

[第6便] 平日だけ榎尾山口から乗り継ぎ、大野の降車であった。

【ワークショップ】

校区	南横山	横山	参加予定者
会場	父鬼町会館	南部リージョンセンター	南横山:3町会役員(評議員) 横山 :地域バス運営委員会
日時	10月26日(土) 【第1回】	11月30日(土) 【第1回】	ワークショップの目的と地域の現状を知ろう 地域の交通のあるべき姿を考えよう
	11月23日(土) 【第2回】	12月21日(土) 【第2回】	地域に必要な交通がどのようなものか考えよう 地域交通手段を考えよう 地域で考えた公共交通ネットワーク素案の作成

【今後の予定】

・第3回委員会にワークショップ等を踏まえた南部地域交通の骨子案及びモビリティ・マネジメントの実施を含めた令和2年度の事業スケジュール案を上程する。